

闇り通路

闇り通路（「暗い通路」）は、本丸御殿の下を通る幅 7 メートルの T 字型の地下道です。長い方は東西 82 メートル、短い方は南北 44 メートルの長さです。雨水を防ぐために漆喰で固められた厚い石の壁があります。東西の通路の途中には階段があり、上にある本丸御殿の大広間へと続いています。

本丸御殿は 2005 年に部分的に復元されたものですが、この通路を構成する石造りの基礎は築城当時のままです。上の本丸御殿にある豪華な装飾が施された畳の部屋は、主に大名が公式の会議や儀式のために使用したもので、生活空間ではありませんでした。